

新任

看護部長挨拶

看護部長 佐野 和枝

今年度より看護部長を拝命いたしました佐野和枝です。昭和60年に県立病院に就職し、希望どおりこども病院に配属になりました。約30年という長きに渡り、こども病院で沢山の経験をさせていただきました。さらなる経験をすべく、平成27年4月に県立総合病院に異動となり、4年間、成人領域を経験させていただきました、この4月にまたこども病院に戻ってきました。

4年間の年月は長いようで短く、戻ってみて感じることは、知っている人のなんと多いこと。すれ違う方たちに温かく迎え入れていただきました。また、看護部長に対する職員の期待も感じました。看護部長が何かするのではなく、看護職員全員で「こどもの笑顔と未来を愛ある医療で守る」を合言葉に、こども達と妊産婦、そのご家族の支援ができると私自身が看護職の皆さんに期待しています。

看護部長ひとりの力ではできない事も、人と人がつながり大きな力になれば、できることが増えると思っています。問題に対し「人がいない！できない！無理！」で終わっていたら前に進めません。「じゃあどうしようか？どうすればいいか？」を必ず言葉の後ろにつけて一緒に考えていただききたいと思っています。



news

こども病院が「小児がん拠点病院」に指定されました

こども病院が2月14日付けで、厚生労働省から「小児がん拠点病院」に指定されました。

これまでは全国で15施設が指定されていましたが、10~30代の若い患者への対応強化を求める等、要件を見直して再指定が行われました。全国の25施設から応募があり、こども病院は今回初めての指定となります。今回の指定に際し、患者様やその御家族、関係者の皆様に深く感謝いたします。

今後、小児がん医療に関し、より一層体制強化に取り組んでまいりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。



クラニオフィシャルセンターを開設しました

2019年4月1日からこども病院としては日本初となるクラニオフィシャル（頭蓋顔面）センターを開設しました。当センターの開設の目的は、頭蓋顔面という臓器・器官が複雑に存在する領域において関連各科のプロフェッショナルが密接に連携を取ることで、multidisciplinary（集学的）で最適な医療を提供することです。

<代表的な対象疾患>

頭蓋変形を来す疾患

- 対象疾患 頭蓋縫合早期癒合症（非症候群性、クルーゾン症候群、アペール症候群など）、頭位性斜頭（寝ぐせ）、外傷性頭蓋骨変形など
- 治療法 脳神経外科、形成外科が合同で手術を行います。頭蓋延長術、頭蓋形成術、縫合切除術、ヘルメット療法などから機能的・整容的に適切な治療方法を選択します。頭蓋延長術では、Multidirectional Cranial Distractuin Osteogenesis (MCDO 法) で良好な頭蓋形態を獲得しています。頭位性斜頭に対するヘルメット療法も始めました。



MCDO 法



ヘルメット療法

気道狭窄の原因となる顎顔面疾患

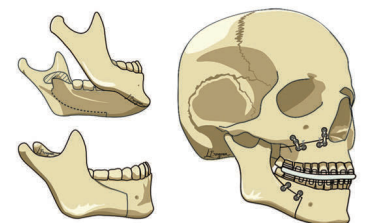
- 対象疾患 小下顎症（ロバンシークエンスなど）・中顔面低形成・後鼻孔閉鎖・巨舌症などによる気道狭窄が疑われるこども、すでに気管切開が施行され早期離脱を目指しているこどもが対象です。
- 治療法 小児喉頭気管再建で日本有数の症例数を誇る小児外科（呼吸器外科）が咽頭気管の治療をおこないます。アデノイド切除などは耳鼻咽喉科、中顔面低形成・小下顎症に対する骨延長・巨舌症などの手術は形成外科が担当し、上気道の治療を行います。当センターの目標は、気管切開をできるだけ少なくすること、すでに気管切開のある子供は小学校就学前の気管切開離脱を目指します。



ロバンシークエンス

顔面輪郭、顔面器官（眼、耳、鼻、口など）の変形を来す疾患

- 対象疾患 唇顎口蓋裂、顎変形症、鰓弓症候群、巨口症、小耳症などの耳介奇形、先天性眼瞼下垂など
- 治療法 唇顎口蓋裂の治療は20年以上の歴史がある当院口蓋裂センターの治療を継続しつつ、唇顎口蓋裂に起因する顎変形症に対する顎骨骨切り術など新たな治療を開始致しました。形成外科、耳鼻咽喉科、歯科、言語聴覚士が、整容的・機能的な治療を行います。顎変形症、鰓弓症候群の治療では、骨格の治療として顎骨骨切り術・軟部組織の治療として遊離組織移植などは形成外科、歯列矯正は矯正歯科が治療を行います。



頭蓋骨骨切り術

当センターに患者様をご紹介頂く時は、紹介状の宛先を「頭蓋顔面センター」もしくは「クラニオフィシャルセンター」にお願い致します。当センターより各診療科への予約を取得させていただきます。

当センターへの問い合わせは以下のメールアドレスへお願い致します。

●静岡県立こども病院・頭蓋顔面センター E-mail : ch-cranio@i.shizuoka-pho.jp

MRI を更新しました！



県立こども病院では、小児専用設計のMRI（磁気共鳴断層撮影装置）を更新し、平成30年3月1日から運用を開始しています。MRI検査は磁気の利用し臓器や血管を撮影するもので、特に、脳や脊髄などに生じた病変を発見するのに有用な検査です。

小児専門病院のMRI検査においては、機械音が大きい等、子どもが長時間じっとしていられないことから、薬によって眠った状態、もしくは全身麻酔を施す場合が多くあります。

今回の更新により、「安全性」「快適性」「検査クオリティー」の向上が図られました。「安全性」については、患者監視カメラ（MRI対応特別品）を1台から3台に増設、MRI内で使用できる点滴装置の設置、併せて麻酔室を検査室前室内に整備し、MRI対応の麻酔器を導入することで、一般病院では対応の困難な小児に対するMRI室内での麻酔もより安全に行えるようになりました。「快適性」については、動作音が現行のものより小さいMRIの導入、患者の気持ちを和らげるためのDVD対応TV等の設置や検査室内に気持ちが和むような装飾が施され、向上が図られました。また「検査クオリティー」については、大人よりも身体の小さい小児用に最適設計された、専用コイル（画像を撮る機械）を複数揃え、検査機器の性能が上がったことにより鮮明な画像が短時間で撮影可能になるなど、向上が図られました。



PICKUP!

診療科ピックアップ

リハビリテーション科

2018年4月に真野 浩志先生が非常勤医師として赴任しました。リハビリテーション室（理学療法、作業療法、言語療法）と協力しながら、診療を行っています。地域のリハビリテーション施設とも連携をし、こどもの能力を最大限に引き出し、社会参加を促す科学的根拠に基づいたリハビリテーション診療を目指していきます。

放射線科

2018年12月に小山 雅司先生が放射線診断専門医として赴任しました。放射線技術室や各診療科と連携しながら、未来ある子どもたちのために安全で優しい画像診断を目指した診療を行っています。子どもたちの画像検査について、連携室を通じたご依頼もお受けしておりますので、どうぞご利用ください。また画像に関するご質問にも随時対応致します。お気軽にお声掛けください。

こども病院 診療科の紹介



内科系診療部	外科系診療部
総合診療科 総合診療、在宅医療を始めとした多岐にわたる診療を行うほか、「小児救急センター（ER）」で24時間365日救急患者を受け入れています。	小児外科 消化器・呼吸器・固形腫瘍を始めとした外科一般の診療を行っています。
新生児科 超低出生体重児から重症な先天性疾患合併症例まで様々な新生児疾患の診療を行っています。	心臓血管外科 主に小児先天性心疾患に関する外科手術による治療を行っています。
血液腫瘍科 静岡県内で質の高い小児がん診療を提供しています。2019年2月に厚生労働省から「小児がん拠点病院」に指定されました。	循環器集中治療科 日本で唯一の「独立した循環器領域の集中治療ユニット」として、手術前後の循環器疾患の患者の管理を行っています。
遺伝染色体科 発達障害や遺伝病、染色体異常に関する診断や診療を行っています。	脳神経外科 脳腫瘍や先天性の脳血管系疾患や頭部外傷に関する診療を行っています。
内分泌代謝科 ホルモンや栄養関連の病気、先天代謝異常症などの診療を行っています。	整形外科 首より下の運動器（骨、関節、筋肉、靭帯など）に関する疾患に対応しています。
腎臓内科 急性・慢性腎不全から透析・腎移植まであらゆる小児腎疾患に対応しています。	形成外科 体表の形態異常および機能異常を外科的に治療しています。また「口蓋裂センター」「クラニオフェイシャルセンター（P2）」を併設しています。
免疫アレルギー科 アレルギー疾患と免疫疾患を主とした診療を行っています。	眼科 他院から非常勤医師の派遣を受け、眼に関する疾患の診療や視能訓練を行っています。
神経科 中枢神経と呼ばれる脳・脊髄、末梢神経や筋肉の内科的な病気を診療しています。	耳鼻いんこう科 難聴や中耳炎、気道や嚥下障害の疾患を治療しています。
循環器科 心臓カテーテルによる検査や治療、不整脈治療を行っています。	泌尿器科 尿路と性器関係の異常疾患について診療しています。
小児集中治療科 内科・外科に関わらず重篤な患者を受け入れる「小児集中治療センター（PICU）」を運営しています。	産科 ハイリスク分娩や新生児科と協力した胎児期から新生児期にかけての母胎に対する診療を行っています。
皮膚科 アトピー性皮膚炎や皮膚に関する先天性疾患の診療を行っています。	歯科 一般歯科では対応困難な、全身疾患や障害を有する患者さんの歯科診療を行っています。
放射線科 放射線技術室と協力し、各部門からの画像検査業務を行っています。	麻酔科 外科各科手術や心臓カテーテル検査、帝王切開等の多様な手術に対し、24時間体制で麻酔対応を行っています。
臨床検査科 検査技術室と協力し、各部門からの検査業務を行っています。	病理診断科 他科より依頼のあった病理組織診断や細胞診、病理解剖を行っています。
こころの診療部	
こころの診療科 小児のこころの疾患に対し、治療を行っています。	発達小児科 「発達障害」に関する治療を行っています。

皆様からの質問等を受け付けています

小児医療や当院に関する意見、質問をお寄せください。住所、氏名、年齢、電話番号を明記、あて先は、〒420-8660 静岡県立こども病院医療サービス課「ひろば読者投稿」係（FAX:054-247-6259、MAIL:kodomo-keiei@shizuoka-pho.jp）。原則として200字以内でお願いします